



浦の浜での自然教室（山田南小児童）

# やぎた

## 議会だより

No. 129  
2010.7.15発行



山田地区青少年健全育成並びに地域安全パレード（山田北小児童）

6 月  
定例会

緊急雇用などに2,888万円を追加 — 2P

議決議案ダイジェスト — 4P

町の考えを聞く — 5P

議会アラカルト（傍聴席から） — 12P



第2回定例会の様子

# 一般会計に2,888万円を追加

## 本年度も緊急雇用創出事業を実施

6月定例会は、6月9日から11日まで3日間の会期で開かれました。一般質問（5ページ11ページに掲載）には7人が登壇し、産業振興や防災対策など幅広く町政について質問。町からは条例の改正や平成21年度補正予算の専決処分の承認、22年度補正予算など18件が提案され、審議の結果すべて原案どおり可決し、3日間の会期を閉じました。

一般会計に2888万円を追加する平成22年度補正予算などが提案され、審議の結果すべて原案のとおり可決されました。

今回の一般会計の補正は、県からの補助金で行う▼緊急雇用創出事業に係る委託料▼介護サービス施設の開設準備経費助成事業に係る補助金——の増が骨子で、主なものと質疑の概要は次のとおりです。

### 特別対策事業補助金

- ▽道路維持費（町道環境美化事業委託料・緊急雇用創出事業） 400万円
- ▽水産振興費（事業体制強化推進事業委託料・緊急雇用創出事業）
- ▽観光費（行事活動用備品購入費） 354万円
- ▽健康増進費（乳がん検診委託料） 178万円
- ▽学校管理費（山田中教室改修工事費） 155万円
- ▽老人福祉費（介護サービス施設開設準備経費助成）
- ▽道路維持費（町道環境美化事業委託料・緊急雇用創出事業） 540万円

### 【ことば】

#### 「専決処分」

本来地方公共団体の長が議会の議決・決定を経なければならぬ事柄について、地方自治法の規定に基づいて議会の議決・決定の前に地方公共団体の長みずからが処理すること。「設計変更により工事請負の契約金額を500万円の範囲内で変更する場合」などの制限がある。

## 介護サービス施設 開設助成事業とは

**問** 介護サービス施設開設準備経費助成特別対策事業補助金とはどのようなものか。  
**国保介護課** 介護サービス施設の一つである「小規模多機能施設」を開設する事業者に対し、宿泊収容人数に60万円を乗じた金額を助

成するものである。今回の助成対象施設の宿泊収容人数は9人なので、540万円を計上した。また、この事業は前年度にさかのぼって適用される。

## 行事活動用備品 何を購入するか

**問** 観光費で計上している行事活動用備品購入費で、

どのような物品を購入するのか。

**水産商工課** 宝くじの普及広報事業によるコミュニケーション助成事業助成金を財源に物品を購入するものである。具体的には、本年度2回目を迎えた「船越家族旅行村花まつり」の夜桜のライトアップに用いる物品で、発電機3台、投光器12台、電気ドラム5台、ガソリンタンク3缶の購入を予定している。

## 水産業の体制強化 推進事業の内容は

**問** 緊急雇用創出事業で行う水産振興費の事業体制強化推進事業の内容を教えてください。

**水産商工課** 具体策としては、山田漁連に対して買い取り販売事業の強化を目的として、本年7月から来年3月まで新規職員2名の人員費を支援する。職員の採用については山田漁連がみずから行うことになる。

## 学校給食センター 建設の進捗状況は

**問** 平成24年度2学期から

の開設を目指している学校給食センター建設の進捗状況は。

**学校教育課** 現在、第一種住居地域内での建築許可の申請手続中であり、県で開催する建築判定審査会を経て6月下旬に許可される予定である。利害関係者の公聴会は既に終了しており、出席者全員が建設に賛成している。

また、財源については、文部科学省の補助金を申請をしているが、採択順位が低く、利用できるかは未定である。

**副町長** 財源については、補助金のほかに、過疎自立計画を策定し過疎債を利用する予定である。過疎自立計画については9月の定例会で提案したい。

## 町道環境美化事業 どのようなものか

**問** 道路維持費で計上している町道環境美化事業委託料とは。

**建設課** 昨年度と同じく緊急雇用対策事業として、町道の側溝の土砂上げ、草刈り、枝の刈り払いの委託を予定している。

### 「小規模多機能施設」

小規模でいろいろな機能を併せ持った施設。デイサービス、ショートステイ、訪問介護サービス機能がある。

### 「過疎債」

過疎地域自立促進特別措置法による地方債（地方公共団体の借金）で、過疎地域における補助事業、単独事業いづれにも利用できる。国から交付される地方交付税の算定基準額に、過疎債の元利償還金の70%程度が算入されることとなっている。本町は本年4月から過疎法の適用になった。



職員側は機構改革などにより新たな体制となりました

## 予算関係

【平成21年度】（専決処分の承認）

- 一般会計補正予算（第9号）  
1,445万円を増額。総額72億4,398万円。
- 国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）  
400万円を減額。総額26億9,355万円。
- 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）  
1,529万円を減額。総額1億3,829万円。
- 老人保健特別会計補正予算（第2号）  
1,080万円を減額。総額76万円。
- 介護保険特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）  
640万円を減額。総額14億9,492万円。
- 簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）  
22万円を減額。総額8,871万円。
- 漁業集落排水処理事業特別会計補正予算（第4号）  
101万円を減額。総額1億8,846万円。
- 公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）  
48万円を減額。総額4億6,424万円。
- 水道事業会計補正予算（第2号）  
73万円を増額。総額2億8,556万円。

【平成22年度】

- 一般会計補正予算（第2号）  
2,888万円を増額。総額72億5,255万円。

## 条例関係

- 山田町町税条例の一部を改正する条例（専決処分の承認）  
地方税法などが改正されたことに伴い、関係条例の整備を行いました。
- 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例／職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例  
育児または家族介護を行う労働者の福祉に関する法律などが改正されたことに伴い、関係条例の整備を行いました。
- 山田町立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例  
国の幼稚園就園奨励費補助金の補助限度額が改められたことに伴い、町立幼稚園の保育料等の減免額を改正しました。

## 議決議案ダイジェスト

### 一般議案

- 岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び岩手県市町村総合事務組規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて  
岩手北部広域環境組合が岩手県市町村総合事務組合に加入することに伴い規約の一部変更を行いました。
- 豊間根中学校武道場建設工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて  
豊間根中学校武道場建設工事の請負契約を締結しました。（契約金額4,563万円） ほか報告2件

### 議員発議

- 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める意見書  
ミニマムアクセス米の輸入削減や備蓄米を適正な価格水準で買入れることを求めるものです。
- 山田町議会の活性化に関することについて  
議会の活性化について、山田町議会活性化検討特別委員会を設置し、平成23年3月31日までの期間で検討するものです。委員に選出された7人は次のとおりです。

委員長 生駒 利治  
副委員長 豊間根 信  
委員 小林 隆、道又 秀悦、山崎 幸男  
三ヶ尻隆雄、吉川 淑子

### 請願

- 最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化に関する請願  
請願者 岩手県労働組合連合会 議長 鈴木 露通  
宮古地域労働組合連合会 議長 川戸 博  
審議の結果 原案不採択
- 米価の下落に歯止めをかけ、再生産できる米価の実現を求める請願  
請願者 農民運動岩手県連合会 会長 久保田彰孝  
審議の結果 原案採択

「幼稚園就園奨励費補助金」  
保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減するとともに、公・私立幼稚園間における保護者負担の格差の是正を図ることを目的として、入園料及び保育料を軽減した市町村に対し、国から交付される補助金。

「ミニマムアクセス」  
決められた数量まで低い関税で輸入し、その数量を超えたら高い関税の適用を行う制度。高関税による事実上の輸入禁止を撤廃することが目的で作られた。



小学校での英語の授業風景  
(豊間根小 5年生)



佐藤忠暉 議員

## 新指導要領

### 小学校教科書の分量の増加とは

### 理科、算数、外国語活動が増

**質問** 小学校教科書の分量が、理科と算数を中心に来春から大幅に増加するという。文部科学省によると、この2教科については学校6日制時代の教科書と比べても5割増しということだ。「ゆとり教育」からの転換というより、取り組み次第では量押し込む戦後教育への先祖返りにもなりかねない。

**岩船教育長** 今回の文科省の学習指導要領の改訂では、我が国の子供たちの学力低下が懸念されたことから、

い。10年ほど前「ゆとり」路線のもとでは、過熱する受験競争を背景とする詰め込み式への反省から、学習内容を約3割削減した。来春からの増量分の内容はどのようなものか。

## 議員7人が一般質問

### 学校教育

### 教師の負担増に不安を覚える

### 県の指導・助言を得て円滑に

小中学校ともに全学年で、従来よりも週当たり1〜2時間多い授業時数が示された。このことから、教科書

も今まで使っていたものよりページ数が増えている。一例を挙げると、算数では基礎基本の反復練習、理科の実験観察、5・6学年の外国語活動などである。現在は移行措置として、算数や理科の補助教材、英語ノートなどを活用して学習している。

**質問** 来年度から小学校高学年の外国語活動（英語）が必修になるなど、教師の負担が増す中で、本来の教育課題に目が行き届かない事態は避けなければならぬと考えるが、教育委員会ではどのように対処しようとしているのか。また、教育委員会だけにまかせておいて安心してよいのか。不安はないのか問う。

**岩船教育長** 新学習指導要領を確実に実施していくため、各学校において、日課表の見直しや学校行事の精選、適切な指導計画作成などの作業を進めているところである。

教育委員会としても、過去の学習指導要領の改訂に取り組んだ経験を生かし、指導主事を中心に学校訪問や各種研修会を行い、その趣旨の徹底に努めるとともに、必要に応じて県教育委員会の指導・助言を求めるなど、新学習指導要領が円滑に実施されるよう取り組んでいく。



佐々木良一郎議員

## 町有財産

# 旧山田病院の跡地利用

## 内部での協議になお時間を要する

**質問** 旧山田病院跡地を購入したが、どのように利用するのか。解体をしないで改築して利用した方がよいと思う。老人ホームにしてはどうか。

**沼崎町長** 図書館利用に当たつての課題などについて集中的に議論したが、結論

に至っていない。

施設利用の可能性を町に打診していた社会福祉協議会にも具体的な利用計画の提出を求めている。

現在は、施設で使用されているアスベストの安全基準が厳しくなったことから再調査する必要があるとの

化が進んでいることから、現時点では取り壊したいと考えている。

**質問** 現在町内で老人ホームなどに入居したい人たち（待機者は何人くらいいるか）。

**沼崎町長** 平成22年5月20日現在、介護サービス施設の入所待機者は、特別養護老人ホームが46名、老人保健施設が13名である。

## 教育行政

# 急がず丁寧な検討

**質問**

①本年度町内9校の小学校に入学した児童は何人か。  
②向こう3年間に入学する子供の数は1年ごとに何人か。

③小学校の規模で違うと思うが、1校を運営していくのに年間いくら経費が掛かっているか。  
④旧町村1校ずつに統合してもよいのでは。

**岩船教育長**  
①本年度入学した児童数は、

143名である。

②3年間に入学する子供の数は平成23年度が135名、24年度が129名、25年度が117名の予定である。

③教職員人件費を除いた年間経費は、少ない学校で540万円、多い学校で1481万円程である。  
④児童数の減少は統廃合の方向を考える一つの要素だが、結論を急がずに丁寧に検討していきたい。



↑旧館（奥側）は解体を検討中です（旧山田病院）

## 町の考えを聞く



山崎泰昌議員

水産行政

# 漁業者支援について

## 独自に取り組んでいる

**質問** 養殖施設被害復旧等支援補助金の活用状況は。

**沼崎町長** 三陸やまだ漁協に1582万円、船越湾漁協に26万円を支出した。

**質問** 激甚災害指定を受けながら、支援策や補助を利用できないと当事者は話している。どのような案件に利用できないのか。

**宇澤水産商工課長** 国、県の補助は共同施設だけに限定されている。漁協が権利を有する施設を組合員が借りて使用するという考えであれば補助を受けられると考えるが、漁業者はあくまで施設は個人所有という姿勢なので支援を受けることができない。

**質問** 町として施設復旧以外に支援策は。

**宇澤水産商工課長** 今後起こりうる大津波などの被害について、漁業者個人への支援は難しい。津波共済や施設共済などの保険の掛け金についての支援で災害対策としたい。

**質問** 水産業においても農業の耕作放棄地問題と同じことが生じている。この状況を認識し、対応を考えているか。

**沼崎町長** 空き漁場が増えているのは平成19年度より認識している。船越湾漁協の地域営漁計画推進協議会でも検討されているが、成果はでていない。

### 町の振興

# 市街地の活性化を

## 後期発展計画において検討

**質問** 長崎踏切への歩道の設置に合わせて、過疎法を活用しバス路線乗り入れの要請としては。

**沼崎町長** 路線バス運行会社にお問い合わせしたところ、地域住民からの要望も無く

検討していないとのこと。町としても現時点で要請はしていない。

**質問** 過疎債を利用して新規路線の開通または行政バスの運行としては。

**川村企画財政課長** 確かに

過疎債を利用できるが後年度への負担が大きくなるので、後期総合発展計画を策定するための地域懇談会での意見を参考に、どういう事業を優先的に行うべきか決めたい。

**質問** お祭り広場として使用している土地が存続の危機だと聞いた。町としては使用できなくてもやむなしという考えか。

**宇澤水産商工課長** できれば現状どおりが望ましい。町への購入要請には、すぐにはお答えできないと回答した。今後協議していく。

### 議員7人が一般質問



6月16日開催の地域懇談会の様子（豊間根地区）



豊間根信議員

景気対策

# リフォーム補助で景気底上げを

## 町民、事業者の声を聞いて検討

**【質問】** 宮古市において実施した住宅リフォーム補助策は投資額の約5倍の成果を上げ、関連業者をはじめ幅広く経済底上げに効果をもたらしたようである。町の方々からも何らかの景気活性化施策をとの切実な声が聞こえる。零細事業者、一人親方にも目を向けリアルタイムに前向きな投資をすべきでは。

**川村企画財政課長** 投資効果がすそ野に大きく広がること、または、すそ野は広くなくとも町内生産性が高いことが検証でき、担当課

から相談があれば対応を考えていくが、企画財政課にそのような声が届いていないので承知するわけにはいかない。業界団体が建設課に要望を話したことは承知している。

**【質問】** われわれ議員が町民の声の代弁者である。宮古市の実例で投資効果は検証されている。みんな困っている。町民に夢のある施策を今こそ実施すべきである。

**沼崎町長** 町民、事業者の意見を取り入れ、総合発展後期計画の策定作業において検討していく。

### 防災行政

## 防災対策の問題点と課題は

### 情報提供の重要性を認識

**【質問】** 先般のチリ大地震津波において改善すべき点が明確になった。その対応は、**沼崎町長** 全体とすれば避難した割合は多くなかったようだ。避難を促す啓蒙活動の一層の推進と、情報提供の重要性を感じている。

避難所の長時間滞在に対応した炊き出しや暖房器具などの充足をはじめ、情報伝達方法や備品点検など改善に努める。

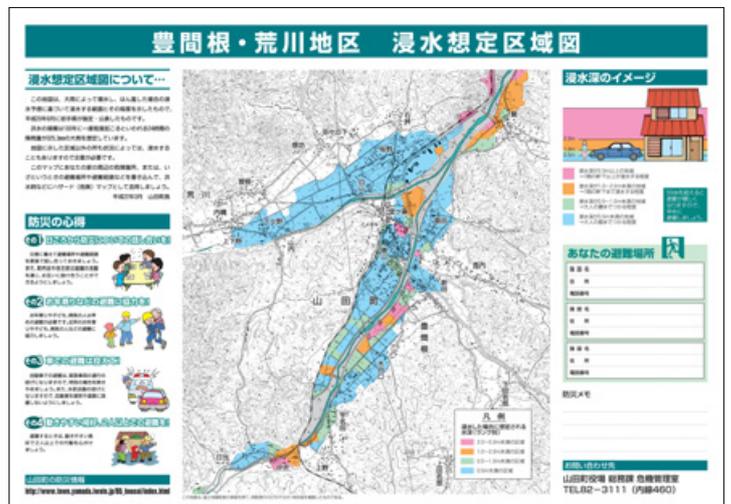
**【質問】** 豊間根・荒川地区の洪水ハザードマップ配布後の対応と被害発生箇所

**【質問】** もっと中身を検討すべきではないか。地域でも危惧しているが、担当課には音頭をとって対策を進めていただきたい。

**佐々木総務課長** 地域の方々が議論したものを集約し参考にしていきたい。

定調査と対策はいかがか。**沼崎町長** 自主防災の意識付けのきつかけとなればと配布したものであり、自主防災組織などの育成に努めたい。

### 町の考えを聞く



豊間根・荒川地区の浸水想定区域図 (ハザードマップ)



阿部幸一議員

## 災害対策

# 各地区の避難場所の確保は

## 地域防災計画において指定

**質問** 地震・大津波警報が発令された場合、各地区の避難場所は確保されているか。

**沼崎町長** 避難場所については、町地域防災計画にお

いて災害時における避難場所として65カ所、避難所38カ所を指定している。

平成22年2月28日のチリ中部沿岸を震源とする地震による大津波警報の際は、

30カ所に最大1170人が避難した。

**質問** 大浦、織笠、大沢地区では避難場所が確保されているようだが、田の浜地区はこれといった避難場所

が確保されていない。また、柳沢、北浜地区には避難場所が無いと言っても過言ではないと思う。地理的にも難しい場所であると思うが、早急に避難場所を確保すべきでは。

**佐々木総務課長** 避難場所についてはそのとおりだと思ふ。柳沢、北浜地区については、自治会と相談して対応したい。



高潮対策事業が望まれる関口川

## 河川事業

# 関口川高潮対策事業の見通しは 県に対し要望していく

**質問** 関口川の高潮対策事業の見通しはどうか。

**沼崎町長** 現在、県が実施している織笠川水門工事は、事業の再評価を踏まえ平成35年度に完成する予定である。関口川の高潮対策事業については、織笠川の事業が終了してからになると思われる。

**質問** 事業開始が今から約13年後の計算になる。何か

良い対策はないか。

**柏谷建設課長** 織笠川水門工事に代わる方法があればよいのだが、なかなか無いと思われる。

**質問** 関口川河口付近は都市計画事業を行っている地域なので、県へ早急にお願

いしてほしい。  
**沼崎町長** 県に対しては前々からお願している。引き続き要望したい。

## 議員7人が一般質問



佐藤照彦議員

## 漁業振興

# 漁業後継者への助成を

## 実情を調査し漁協と協議

の成育状況は。

**質問** 産業振興を問う。  
①陸前高田市などでは漁業

の新規参入や後継ぎへの助成を創設した。本町も創設すべきでは。

②県はアワビ種苗放流の効率化に力を入れようとしている。本町はどう対応するのか。

③県が放流したナマコ種苗

**沼崎町長**

①後継者問題は助成制度を作ればよいという問題でもなく、他市町村の要綱などが本町の漁業形態の実情に即しているかを調査しながら、漁業者側の受け入れ体制が取れるかを含め、漁協と協議し



漁業者の期待を背負っています  
(海中のアワビ)



[混獲率]  
漁獲したアワビのうち、  
放流したものの割合

## 町の考えを聞く

### 景気対策

## 住宅リフォームへの助成を

## 慎重に検討したい

たい。

②アワビ種苗放流の投資効果を検証するための混獲率調査が行われていない

状況であり、調査の実施体制の構築を漁協にお願いしている。受益者負担の原則の中で、漁協や漁業者ができることをすることが最初の行動と考える。③ナマコ種苗の生息密度は、放流前とほとんど変わらず効果の検証までに至っていない。増産はあまり期待できない。

**質問**

宮古市では、住宅リフォーム工事への助成が千件を超え、さらに千件、1億円の追加を検討しているという。本町も住宅リフォーム工事への助成を実施すべきでは。

**沼崎町長**

県内では14市町村で住宅リフォームに対する補助を実施している。補助対象工事は30万円以上が6団体、50万円以上が4団体となっている。また、補助金については9団体が商品券での交付となっている。

る。

宮古市では20万円以上のリフォーム経費に対し10万円を補助しており、県内で最もハードルが低いことから予想外の利用件数になったものと思われる。

本町でも早急に事業実施をということだが、地域の景気対策、活性化事業として、リフォーム関係者以外への配慮や、補助制度の中身によってその規模が異なってくるので、慎重に検討したい。

# 駅北側の土地取得するか 財政的に厳しいが協議する



黒沢一成議員

**質問** 秋の山田祭の時にイベント広場として利用している陸中山田駅北側の土地の取得を商工会が町に求めたいのだが、その内容と町の考えは。

**沼崎町長** この土地は、山田の魅力発信実行委員会が三陸やまだエンタテイメントカーニバルの会場として期間中、所有者から借りている。本年3月初めに、土地の所有者から商工会に「この土地を店舗用地として借地利用したいと申込みがあり、検討している」との情報があつた。商工会で

は店舗が建設されると▼エンタテイメントカーニバルの会場として使用できなくなる▼借地する店舗は町外の企業であり、町内の商店街に影響がある——として、町にこの土地を取得するよう要望があつた。

町はこれに対し「財政的に厳しく、現状では購入は難しいが、今後協議していきたい」と回答した。この土地がエンタテイメントカーニバルの会場として使用できなくなった場合は、新たな会場の選定について実行委員会に協力していく。

## 給食センター

# 一括発注か分離発注か

## 設計内容を精査し決定

**質問** 学校給食センターの建設工事は、一括発注とするのか、分離発注とするのか。大槌町や宮古市では、昨年度分離発注している。町内の業者が下請けに入る場合にも分離発注の方が有利では。

**沼崎町長**

現在、県から建

築許可が下りるのを待っている状況である。許可が下り次第、実施設計業務を委託発注し、出来上がった内容を精査して発注方法を検討する。

**質問** センターの運営は公設民営の考えと聞いているが、引き受け手の募集の時

期、内容は。  
**沼崎町長** 運営については公設民営の方向で検討しているが、募集の時期や内容など具体的なことは詳細な資料がそろつてから協議する。平成23年度の中ごろには決めたいと考えている。業者が検討する期間も考え、早めに協議したい。

## 議員7人が一般質問



昨年の三陸やまだエンタテイメントカーニバル

インタビュー

傍聴席からひとつ



佐藤 君江さん  
(豊間根・80歳)

議会を傍聴されての感想はいかがですか。

傍聴席に座ると、手すりが高く議員の皆さんの姿が見えなくなりました。誰かが手をあげて質問しているか見えればもつと面白く感じると思いました。

今後、議会または町政に望むことはなんですか。

議会を傍聴する人がもつと増えれば良いと思います。私の住んでいる地域のことが議題になるときは、また聞きに来るつもりです。

議会を傍聴されたいきっかけは何ですか。

家でテレビばかり見ているより、わたしたちが選んだ議員の皆さんがどんな場所、どのようなことを質問しているのかを見たくて傍聴しました。

明日の山田が見えてくる

皆さんで議会傍聴を

6月定例会では、3日間で延べ11人の方々が議会を傍聴しました。議会での一般質問や議案審議などを通じて町政課題や町の未来が見えてきます。皆さんで議会を傍聴しましょう。次回の定例会は9月上旬に開会の予定です。

議員出欠表

●病欠入院 □公務欠席  
△遅刻早退 ○自己都合

月日	本会議種別	欠席者等氏名
6月9日	第2回定例会	欠席者等なし
6月10日	"	○生駒利治
6月11日	"	△山崎幸男

山田町議会活性化検討特別委員会

本定例会では、ますますの議会の活性化を目指して「山田町議会活性化検討特別委員会」が設置されました。主な協議内容は次のとおりです。

- ① 議会報告会の開催について
- ② インターネットによる議会の中継について
- ③ 一問一答方式による質疑応答について
- ④ 一般質問の制限時間の拡大について
- ⑤ 会派代表による一般質問の行使について
- ⑥ 町長、職員側への反問権の付与について
- ⑦ 政務調査会の設置について

平成23年3月31日まで検討することとし、9月の定例会で中間報告する予定です。

あともがき

▼春を告げるイサダ漁は魚価が高値で推移したこともあって好漁のうちに終漁しました。ワカメ養殖は昨年に引き続き「スイクダムシ」の被害もあり、予定された水揚げ数量に届かなかったようです▼初夏の前浜ではウニ漁が始まっています。当初は冷水の影響で海藻が多いことと海の透明度が悪いこととで不漁でしたが、6月の半ばから海況が改善され「口開け」のたびに好漁が続いているようです▼定置漁業は4月の着業早々から、招かざる客「キタミズクラゲ」の襲来で思うような操業ができず、クラゲ対策で苦慮しているようです▼6月定例会は、緊急雇用創出事業などの補正予算が提案され、7人の議員の一般質問で質疑応答が繰り広げられました。町民皆さま多数の議会傍聴をお待ちしております。(生駒)

議会広報編集特別委員会

- |       |       |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
| 議長    | 委員    | 副委員長   | 委員    |
| 生駒 利治 | 山崎 幸男 | 豊間根 泰昌 | 稲川 昌憲 |
| 輝 隆成  | 一 利治  | 林 根    | 小黒 根  |

やまだ議会だより No.129 平成22年7月15日発行 発行/岩手県山田町議会 編集/議会広報編集特別委員会 FAX0193-82-4989 ホームページアドレス http://www.town.yamada.iwate.jp/\_12\_gikai/